

教理研究院

サンクチュアリ教会およびUCIを支持する人々の言説の誤り(4)

サンクチュアリ教会は、真のお父様のみ言と伝統が真のお母様によって覆されていると主張し、お母様のなさることをことごとく否定しています。また、UCI（いわゆる「郭グループ」）は、日本で集会を行って「統一教会の分裂」（日本語訳）という書籍を広めています。その書には誤訳やみ言改竄が散見し、お父様とお母様が分裂しているかのように論じています。彼らの主張は、真のお父様が真のお母様と共に立ててこられた勝利圏を否定するものであり、真のお母様を中心とする統一教会の一体化を損ねるものです。前回に引き続き、サンクチュアリ教会およびUCIを支持する人々の言説の誤りを指摘していきます。

なお、これらの内容を総合的に理解し把握するためには、「真のお母様宣言サイト」(http://trueparents.jp/)の掲載文や映像をごらんください。教理研究院

注、真のお父様のみ言は「青い字」で、UCI側の主張は「茶色の字」で区別しています。

四、UCI側が広める金鍾奭著『統一教会の分裂』の「虚偽」を暴く(一)

「天一国のない基元節を出発」は、み言隠蔽に基づく悪意の解釈

真のお父様はその生涯路程において、真の父母としての使命成就を勝利的に積み重ねられ、

二〇一〇年に真のお母様との「最終一体」を宣言されました。二〇一二年四月には「天地人真の父母定着」を宣布され、さらに「天地人真の父母定着完了」を成就されました。

そして、私たちは二〇一三年天曆一月十三日、歴史的な「基元節」を迎え、実体的天一国の出発をすることができました。

ところが、UCI（いわゆる「郭グループ」）側が二〇一六年の秋頃から日本で集会を行って広めている金鍾奭著『統一教会の分裂』は、天一国のない基元節を出発した」と主張しています。その内容は、真の父母様の「最終一体」と「天地人真の父母定着」という歴史的勝利を否定し、その書を読む者をして、真のお父様と真のお母様の関係を疑うようにしむけさせ、お母様をおとしめています。

(一)「最終一体」宣言後の真のお父様の認識は、天地人真の父母定着完了」

真のお父様は二〇一〇年六月十九日(天曆五月八日)と同六月二十六日(天曆五月十五日)、米国・ラスベガスで真のお母様との「最終一体」を宣言されました。

真の父母様はこの「最終一体」の宣言から十二日後の同年七月八日、韓国・天正宮博物館

館で「天地人真の父母定着実体み言宣布大会」を開催されました【写真左】。

そして、翌年五月二十六日には、韓国・仁川で「天地人真の父母定着実体み言宣布宇宙大会」を開催され、「皆様、今日、私たちが生きているこの時代は、歴史的な大宇宙的革命期です。歴史を変え、霊界と地上界を一つにして、神様が太初から願ってこられた理想天国をこの地上に創建しなければならぬ大宇宙的革命期です。これ以上、延



期したり、延長する時間はありません。天は既に、二〇一三年一月十三日を「基元節」として宣布しました。実体的天一国の始発であり、起源となる日が正にその日なのです」(韓日対訳『天地人真の父母定着実体み言宣布宇宙大会』39〜41ページ)と宣布しておられます。

さらに真のお父様は世界巡回をされ、宇宙大会を各地で開催していかれ、二〇一二年の「真の神の日」(天曆一月一日(陽曆一月二十三日))の年頭標語は「天地人真の父母勝利解放完成時代」と発表されました。

その後、真のお父様は、同年三月に真のお母様を日本に遣わされ、「天地人真の父母様勝利解放完成時代宣布大会」を開催され、その大会のようすを「巨文島で見守られながら、大会に同参されました【写真下】。

その勝利圏の上で、第五十三回「真の父母の日」(陽曆三月



二十二日)に、真のお父様は「神様と人類の責任が完結される天の国の憲法が何かといえは、「天地人真の父母定着」です。それさえ成れば、全てが終わるのです。……『天地人真の父母定着』、それで全てが終わるのです」(『トウデイズ・ワールドジャパン』二〇一二年五月号、43ページ)と語っておられました。

その予告どおり、真のお父様は二〇一二年四月十四日、ラスベガスの天和宮で「天地人真の

父母定着実体み言宣布宇宙大会を最終完成・完結することをお父様の前に奉獻します」という特別宣布式をされました(同、二〇一二年六月号、19ページ)【写真左】。

そして、その七日後の同年四月二十一日に韓国・清心平和ワールドセンターで、真のお父様は「天地人真の父母様特別集会」を開催され、次のようにみ言を語っておられます。

「天地人真の父母定着完了」の講演文をもって挙行されたこの大会で、真のお父様は「栄光の宝座に座する人は、億千万代においてただ一つの夫婦であって、二つはいません。夫婦が二つですか、一つですか。万国の王たち、偽者たちがなぜこんなに多いのですか。万王の王はお一方です」(『KMS中和新聞』二〇一二年四月二十七日号)

「天地人真の父母定着完了」の講演文をもって挙行されたこの大会で、真のお父様は「栄光の宝座に座する人は、億千万代においてただ一つの夫婦であって、二つはいません。……万王の王

は「お一方です」と語られ、天一国の「万王の王」がお一方であることを明らかにされました。しかも、「億千万代においてただ一つの夫婦」と述べられ、それが文鮮明・韓鶴子ご夫妻であることを明言されました。このように、お父様は「**天地人真の父母定着**」を発表され、**天地人真の父母定着完了**を成し遂げておられます。

以上が、**真のお父様が真のお母様と共に**、二〇一〇年から二〇一二年にかけて「**最終一体**」の撰理を歩まれながら、全人類に対して公式的に発表しておられる、お父様ご自身の**定着完了**に関する認識です。

ところが、UCI側が広める金鍾奭著『統一教会の分裂』は、このような真のお父様ご自身の認識を無視して、お父様と真のお母様は一体となっておられないという、**虚偽のストーリー**を創作しています。

この『統一教会の分裂』のストーリーは、前項で述べた真のお父様ご自身の認識とは異なっており、**真のお母様はお父様と一体になっていない**というテーマで一貫しています。これは、**虚偽のストーリー**です。

金鍾奭氏は、「真のお母様が完成した」という根拠である「**最終一体**」をされたというみ言についても、「**秘密文書の約束を守らなければ、創始者のこの宣布は無効になる**という意味も含まれている」(180ページ)と、かつてに解釈しています。

真のお父様ご自身は、「**最終一体**」の宣布の後、天和宮で「**最終完成・完結する**」という「**特別宣布式**」をしておられ、さらには「**天地人真の父母定着完了**」を宣言しておられるにもかかわらず、金鍾奭氏は、真のお母様はお父様に絶対服従せず歩まれたと論じており、そのことに対してお父様が「**韓鶴子(真のお母様)の未成熟と不信**

(2)『統一教会の分裂』に書かれた**秘密文書**に関する**み言隠蔽**

①金鍾奭氏の「創始者は韓鶴子と一体になれなかった」という主張の欺瞞

『統一教会の分裂』が述べる「創始者は韓鶴子と一体になれなかった」という主張は、真のお父様のみ言の**隠蔽**に基づく策略的な言説であり、誤りです。まず、『統一教会の分裂』の問題となる箇所を以下、引用します。

「真のお父様は)二〇一〇年二月十九日、自分の宗教的理想と統一教会の目的、そして絶対者・神様の夢が叶う『天一国』が二〇一三年陰暦一月十三日の『**基元節**』を期して成されなければならぬと宣言した。また、全統一教会人は基元節に天一国実現の為に責任を果たさなければならぬと強調した。……責任を果たせなければ、二〇一三

を強く叱責しながら」(254ページ) 歩んでおられたのだと、虚偽の主張をしています。

『統一教会の分裂』には、**み言隠蔽**と、自分に都合良くみ言を解釈することによって人々を惑わそうとする**悪意**が込められていることを知らなければなりません。

②み言隠蔽に基づく**秘密文書**に対する悪意の解釈

金鍾奭氏は、前述のように二〇一〇年七月の状況で……創始者はこの日まで韓鶴子と一体になれなかったことを吐露していた」と述べます。彼は、その根拠として韓国家庭連合の機関誌『統一世界』二〇一〇年六月号の10ページから11ページのみ言を引用しています。(注、以下の訳文は『統一教会の分裂』に掲載されたもの)

「見なさい。天曆二〇一〇年五月十五日(陽曆六月二十五

年陰曆一月十三日は天一国のな**い基元節**になるのである」(『統一教会の分裂』54〜55ページ。カッコ)のなかの言葉は**教理研究院の補足**。以下、同様)

「二〇〇九年七月十二日、創始者(注、真のお父様)が韓鶴子を神様の夫人の位置に立てることはできないと言及する」(同、157ページ。注、この虚偽の主張に対する反論は後述)

「二〇一〇年七月の状況で……創始者はこの日まで韓鶴子と一体になれなかったことを吐露していた。『創始者と一つになる』という言葉の意味は、韓鶴子が創始者の志に絶対服従することを言い、真の家庭の真なる母として、真のお父様の真なる妻として、人類の前に真の父母としての責任と使命を果たすことを言う」(同、178〜179ページ)

日)、これがナンバー1です。アリア(ホテル)から出発した最後の日に訓示したものです。

……その日が重要です。それがお母さんとお父さんが最後に宣言した**秘密文書**です。これは昼夜の神様も知らないものです。天曆二〇一〇年五月十五日午前三時三十五分とは何なのか。その時の出来事を中心に、その後の方針を密かにお母さんと約束しました。間違いなく、お母さんがお父さんと一体となって歩むと約束した時間です。

それまでは、お母さんがお父さんと一つになって行くという話をしませんでした。神様と世界に公布できませんでした。それを公布した時間が、天曆二〇一〇年五月十五日午前三時二十五分でした。この三時二十五分が重要です。三時は三時代を示し、二十五分は百年を中心として四分の一年を示します。墮落した世界の終幕前においてお母様がお父様と神様を中心

「創始者は、韓鶴子が(真のお父様)自身と一つになるという約束を根拠に『完全に一体を成した』という宣布をした。秘密文書の約束を守らなければ、創始者のこの宣布は無効になる」という意味も含まれている」(同、180ページ)

「創始者が韓鶴子に対する残念な感情……を集中的に表出した始めた時期は、大体二〇〇〇年度末と考えられる。撰理に対する無知、創始者を不信する韓鶴子の態度などに言及しながら、創始者に絶対服従しなければならぬと教示した。……韓鶴子が完成したという趣旨の言及後にも、創始者が韓鶴子の未成熟と不信を強く叱責しながら、絶対服従することを言及しているのを考える時、私たちが知ることのできない創始者の苦心があったに間違いはない」(同、245〜246ページ)

として約束しましたが、それが天曆二〇一〇年五月十五日午前三時二十五分の出来事でした。

それが題目になっています。そうして『二十五分は一〇〇の四分の一致に該当し、三時は初不得三(精進すれば成功するの意味)の三時代を代表し、旧約・新約・成約時代の完成・完結・完了の時代を迎え、真のお父様と真のお母様の最終一体圏が完成・完了した全体・全般・全権・全能の時代を奉獻することを表す!』としましたが、ここに全て入るのです。純潔・純血・純愛の完備を見るアリアスカイ(Ariasky)スタジオで、天曆五月八日(陽曆六月十九日)二十分に発表完結される!と言いました。全てが終わってお母様と完全に霊界に奉獻することのできる祈禱を捧げた時間です。『完結される、アジュ!』となっているので終わったのです」(178〜179ページ)

『統一教会の分裂』は、真のお父様が語っておられる「秘密文書」とは、天曆二〇一〇年五月十五日午前三時二十五分に、真のお母様とお父様が宣言をしたものであり、それはお母さんとお父さんと一体となって歩むと約束した時間であると解釈します。

金鍾奭氏の欺瞞は、彼の著書に肝心の「秘密文書」の具体的な内容が記されておらず、その部分を意図的にカットしていることです。金鍾奭氏が引用した韓国機関誌「統一世界」二〇一〇年六月号の続きの部分には、真のお父様が「秘密文書」と言われる具体的内容が記されています。

「三時二十五分にオモニ(お母様)をオモニとして定めます。神様お母様(ハナムオモニ)、実体のオモニ、真の父母のオモニ、アボジ(お父様)のオモニ、

③真のお父様が「韓鶴子を神様の夫人の位置に立てることはできない」と語ったとする虚偽
また、金鍾奭氏は、『統一教会の分裂』で「二〇〇九.七.十二 創始者が韓鶴子を神様の夫人の位置に立てることはできないと言及する」(157ページ)と述べています。
彼のこの主張は誤りです。まず、『統一教会の分裂』の訳文を以下、引用します。

「お母さんがどれほど大胆か分かりません。こうした原理原則を中心として天の国の天法生活に入ると一遍に引っかかり得る状況がたくさんあることを知らずに勝手に生きています。そこに引っかからないように私が垣根になってあげて、蘇生時代から国家解放圏までもお母さんを保護する責任を今しています。垣根となることは自分の垣根圏と対等な位置でできるのではありません。先生が作った垣根が

自分の妻、自分のハルモニ(祖母)……。アボジ(お父様)、自分の夫、カインとアベルの息子二人まで八代男性を踏んで越えらるる女性の権威を持たなければ、先生に従って天国に入れないという理論的な結論です。ここに、該当する文書が全てありません。文書は守らなければならぬというのです」(『統一世界』二〇一〇年六月号、12ページ)

二〇一〇年天曆五月十五日午前三時二十五分、真のお父様は真のお母様をお母様として定められ、最終「一体」を宣布しておられます。この部分が「秘密文書」の核心部分です。

金鍾奭氏は、秘密文書の約束を守らなければ「この宣布は無効になるといふ意味も含まれている」(『統一教会の分裂』一八〇ページ)と述べますが、真のお父様はそのような言葉を一切語っておられません。金鍾奭氏は「……八代男性を踏んで越え

できる前にはできません。お母さんがどうして神様の夫人の位置に立てますか。墮落した女として、どうして真の父母の夫人の位置に立てますか。真なる僕の夫人の位置にも立てず追いつ出されて。それを殺してしまおうとするのですよ。そのような人を掴まえて神様の夫人の位置に立てますか。そんな馬鹿げた行動がどこにありますか」(マルスム選集六一四―二八)

以上の訳文を読むと、このみ言は、真のお母様に対する真のお父様の忠告のように読め、「自分勝手に生きておられるお母様」という意味に読め、多量の人は、「そのような人をつかまえて神様の夫人の位置に立てられるのか? そんな馬鹿げた行動がどこにあるのか?」と怒っておられるみ言のように読むことであります。しかし、事実はそうではありません。実際の文章を、

られる女性の権威を持たなければ、先生に従って天国に入れないという理論的な結論です。ここに、該当する文書が全てありません。文書は守らなければならぬというのです」の部分をもって、秘密文書の約束を守らなければ「この宣布は無効になるといふ意味も含まれている」と主張しているのかもしれないが、お父様が語られているのは、真のお母様が先生に従って天国に入るためには「お母様が八代男性を踏んで越えらるる女性の権威を持たなければならぬ」(『統一教会の分裂』二〇一〇年六月号、12ページ)と定めます」と述べておられるのであり、文書が守られることはしていないのです。

そして、真のお父様は、真のお母様をオモニと定められただけではなく、「天地人真の父母定着完了」まで宣布しておられるのです。金鍾奭氏の問題点は、

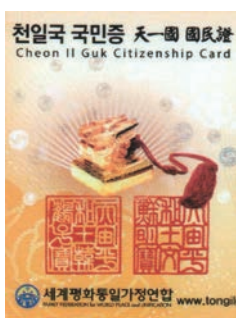
「神様が協力をせず、霊界が協力をしないので、霊界が協力できる勝利的基盤をつくらなければなりません。神様が協力をできる勝利的基盤がどこにありますか? 自分自身の中にありません。先生をつかんで行かないればなりません。先生も今まで絶対信仰、絶対愛、絶対服従で東ねてきたのであって、別の何もありません。私の言葉がなく、私の主張がありません。

それらの前後を含めて、以下引用します。
「神様が協力をせず、霊界が協力をしないので、霊界が協力できる勝利的基盤をつくらなければなりません。神様が協力できる勝利的基盤がどこにありますか? 自分自身の中にありません。先生をつかんで行かないればなりません。先生も今まで絶対信仰、絶対愛、絶対服従で東ねてきたのであって、別の何もありません。私の言葉がなく、私の主張がありません。

小見出し「垣根を作ったあげ、お母様を保護してあげている」
お母様はどれほど大胆なのか分かりません。このような原理原則を中心として天の国の天法生活に入っていくようになるとすぐに引っかかる状況がたくさんあることを知らず、心の行くままに生きています。そこに引っかからないように私が垣根をつくってあげ、蘇生時代から

その後、お父様が「定着完了」を宣布しておられることを無視して論じている点です。

私たちは二〇一三年天曆一月十三日、真のお父様がすでに宣布しておられたように、神様の夢であった「基元節」を迎えることができ、実体的天一国を出発する日を迎えました。その日には、「天地人真の父母様天一国即位式」「天一国基元節入籍祝福式」が挙行され、天一国の出発が宣布され、同時に「基元節入籍祝福式」に参加した祝福家庭は、天一国に入籍したのです。そして、天一国に入籍した祝福家庭には「基元節天一国民証」が授与されたのです【写真】。



国家解放圏までもお母様を保護してあげる責任を今、しています。垣根になるそれが、自分の垣根圏と同等な位置でなされるのではありません。先生が築いてあげた垣根となる前にはできません。

お母様がどのように神様の夫人の位置に出ますか? 墮落した女として、どのように真の父母の夫人の位置に出ますか? 真の僕の夫人の位置もできないで、追いかけて回されてです。それを殺してしまおうとするのに、追いかけて回されてです。それです。そのような人をつかまえて神様の夫人の位置に立てますか? そのようなことができる馬鹿げた行動がどこにありますか? 統一教会の皆さんがそのようなのです」

真のお父様が、真のお母様を「神様の夫人の位置に立てることとはできないと言及する」としている『統一教会の分裂』の訳文を、教理研究院の翻訳文と

光言社オンラインショップ リニューアルいたしました。

【新しく始まったサービス】

- ◎お支払方法にコンビニ決済が加わりました。
- ◎お届け方法にメール便が加わりました。
- ◎お届け時間の指定が可能となりました。
- ◎ご投稿いただいたレビューが掲載されると50ポイントプレゼント。
- ◎定期購読のお申込み手続きがサイト上で可能になりました。



スマホで簡単注文 エンジン色のボタンを4回タップ

※会員の方はログインしてお使いください

- 1 「カートに入れる」
- 2 「ご注文手続きへ進む」
- 3 配送方法と支払方法を選び「ご注文の確認へ」



4 「ご注文の確認」



5 ご注文完了 (確認メールが届く)



スマホで読み取ってアクセス



ご注文は

パソコン
ホームページ

光言社オンラインショップ

検索

<https://www.kogensha.jp/shop/>

ご質問は「書籍お問い合わせセンター」まで ご案内(平日 10:00~17:30) TEL 03-3460-0429 info@kogensha.com

比較して検証します。

「お母さんがどうして神様の夫人の位置に立ってますか」(『統一教会の分裂』の翻訳)
「お母様がどのようにに神様の夫人の位置に立ってますか?」(教理研究院の翻訳)

『統一教会の分裂』が「どうして」と訳した原文は、韓国語で「어떻게」と書かれています。これを「Why」の意味で訳します。ゆえに、その後に続く文章が全て、神様の夫人の位置に立てられない理由のみ言として読めてしまいます。しかし、ここでの「어떻게」の正確な意味は「Why」ではなく、「How」であり、「どのように」が正しい訳語です。したがって、このみ言は、「お母様をどのようにに神様の夫人の位置に」という状況、状態、方法などを尋ねておられるみ言なのです。また、「立ってますか」と訳し

ている原文を見ると、韓国語で「나가나?」と書かれています。この言葉を「立ってますか」と訳し、疑問符の「?」も省略して「お母さんがどうして神様の夫人の位置に立ってますか」との訳文を読めば、まるで、真のお母様の不従順な姿に真のお父様が苦心しておられ、神様の夫人の位置を否定して語っておられる深刻なみ言であるかのように読めます。しかし、韓国語の「나가나?」は、「나가다(動詞)+나?」(疑問)の形です。「나가다」は動詞であり、一般的に「出る」という意味です。したがって、「立てる」は誤訳です。そして、「나?」は疑問形ですが、これは、少し驚いているときに使われる表現です。それゆえ、「나가나?」は「出ますか?」とするのが適訳なのです。この「お母様がどのようにに神様の夫人の位置に立ってますか?」、その前で語られた状況を踏

まえたうえで、真のお父様が「お母様が(そのような状況で)どのようにに神様の夫人の位置に立ってますか?」と尋ねておられる内容なのです。ところが、『統一教会の分裂』日本語版は疑問符「?」を省略し、さらに「立ってますか」と誤訳しています。しかも、『統一教会の分裂』は、最も重要な部分をカットしています。それが、最後に訳した「統一教会の皆さんがそうなのです」の部分です。この一文が入ることで、真のお父様が指摘しておられる「馬鹿げた行動」の人物とは、真のお母様ではなく「統一教会の皆さん」であることがはっきりします。以上の内容から、『統一教会の分裂』の「創始者が韓鶴子を神様の夫人の位置に立てることができない」と言及するという主張は完全な誤りであることが明白となります。結

局、このみ言は、真のお父様が、真のお母様以外の統一教会の女性たちに対して、「皆さんを神様の夫人の位置に立てることはできない」、「お母様しか神様の夫人の位置に立てられない」と言及しておられるみ言だったのです。この肝心な部分の「み言隠蔽」と誤訳は、金鍾奭氏および翻訳者が真実を伝えるために「事実」に基づいて書物を世に出そうとするのではなく、何とんでも、真のお母様をおとしめようとする目的と動機をもって、『統一教会の分裂』を策略的に著し、出版していることを裏付けます。私たちは、真のお母様をおとしめようとする不純な動機からなされる、彼らのみ言の悪用にだまされてはなりません。